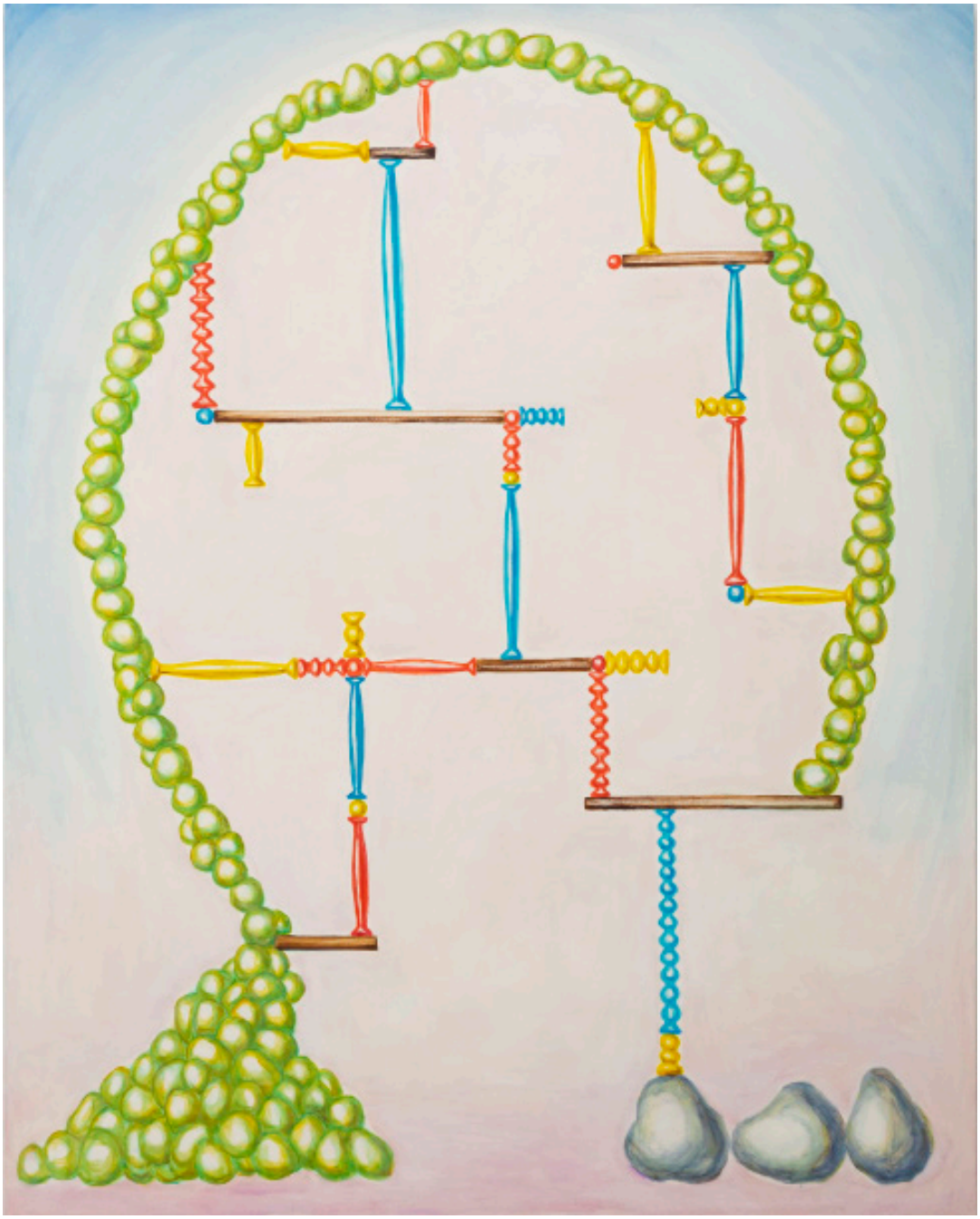
あざみ野コンテンポラリー vol.14

長谷川繁　1989ー

▶2023 年10月7日[土]-10月29日[日]



2014-2015 年　油彩、綿布　227×182cm

横浜市民ギャラリーあざみ野
Yokohama Civic Art Gallery Azamino
〒 225-0012　横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3
アートフォーラムあざみ野 内
展覧会担当：佐藤、日比谷　広報担当：小泉
TEL 045-910-5656　FAX 045-910-5674
https://artazamino.jp/　info@artazamino.jp

「近代絵画」を問う、再注目の画家・長谷川繁
初期滞欧期の貴重な未発表作～最近作による個展を横浜で開催！

本展は、美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なジャンルのアーティストによる表現活動に目を向けたシリーズ展「あざみ野コンテンポラリー」の第 14 回として、約 40 年にわたって絵画を表現手段としてきたアーティスト、長谷川繁（1963 年生まれ）による個展を開催します。

長谷川は、1988 年愛知県立芸術大学大学院を修了後、1989 年 にヨーロッパに渡り、デュッセルドルフ芸術アカデミー（ドイツ）、ヤン・ディベッツ（Jan Dibbets / b.1941）クラスで学びました。1992 年からは、アムステルダム（オランダ）中心地にあるビジュアル・アーティストのための国際的なレジデンス施設「De Ateliers（デ・アトリエーズ）」に 2 年間在籍しました。長谷川は、オランダについて、気候風土や国民性だけでなく、「絵画に対してドライな距離をとっている」と語ります。この地からの刺激を受けた長谷川は、1996 年に帰国し日本に拠点を移してからも、たびたびオランダに滞在しながら、絵を描き続けてきました。

帰国後は、国内外で数々の展覧会に参加してきましたが、2013 年のグループ展を最後に、作品の発表を休止していました。その後 2019 年、約 10 年ぶりとなる個展開催を皮切りに、長谷川のキャンバス上の実験的試みとしての絵画が、再び観客の前に提示されることとなります。

本展では、1989 年から 92 年までのドイツ滞在中に描いた連作をはじめ、オランダ滞在期の大型作品など、そのほとんどが未発表の貴重な作品群を中心に、2000 年代以降の作品に加え、近年の内側から発光するような色使いと経験の積み重ねに裏打ちされた画面構成、そして即興ともいえる自在なるモチーフの組み合わせが見事に結実した、今日に至る数多くの仕事の一端を展示します。長谷川の絵画において変わらないもの、刻々と変化してきたものは一体何なのか。そしてその表現から受け取ることができる「豊かな謎」を、それぞれの眼と記憶に刻む展覧会となれば幸いです。

1993-1994 年頃 オランダ滞在期に制作　油彩、綿布

1993 年 オランダ滞在期に制作
油彩、綿布

酢毛悪郎ビヨンド SCARECROW - Beyond　2022 年　油彩、麻布

※ぜひともこの機会にご取材いただきますよう、お願いいたします。提供可能な広報用画像がございますので、ご入用の際にはご請求ください。

展覧会概要

＊ご来場の際は当館ウェブサイトなどで最新情報をご確認ください。

展覧会名	**あざみ野コンテンポラリー vol.14　長谷川繁　1989－**
会　　期	2023 年 10 月 7 日（土）～ 10 月 29 日（日）　22 日間　※ 10 月 23 日（月）休館
開場時間	10：00 ～ 18：00
料　　金	入場無料
会　　場	横浜市民ギャラリーあざみ野　展示室 1
出品作家	長谷川繁（はせがわ・しげる）
主　　催	横浜市民ギャラリーあざみ野（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

出品作家プロフィール

長谷川繁（はせがわ・しげる）

1963　滋賀県生まれ、神奈川県在住
1986　愛知県立芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
1988　愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了
1989-1992　デュッセルドルフ芸術アカデミー（ドイツ）修了
1992-1994　De Ateliers（アムステルダム、オランダ）に在籍
1996　帰国
2003-2004／2017-2018　アムステルダムに滞在

個展
2023「酢毛悪郎」Satoko Oe Contemporary（東京）
2022「pot」Satoko Oe Contemporary（東京）
2021「種まく人」Satoko Oe Contemporary（東京）
「喫茶・スナック 死●ゲル」旧喫茶・スナックユカ（愛知）
「目面屠森くん」照恩寺（東京）
2020「2003-2004」Satoko Oe Contemporary（東京）
「長谷川繁」ガレリア フィナルテ（愛知）
2019　634 展示室（東京）
「PAINTING」Satoko Oe Contemporary（東京）
2010　ガレリア フィナルテ（愛知）
「公開制作 49 “モチーフ” って何 !?」府中市美術館（東京）
2008　ガレリア フィナルテ（愛知）
「ABSTRACT」void+（東京）
2007　T&S Gallery（東京）
2006　appel（東京）
ガレリア フィナルテ（愛知）
2005　ギャルリー東京ユマニテ（東京）
2003　ON Gallery（大阪）
2002　Gallery NAF（愛知）
Gallery MAKI（東京）
1999　カスヤの森現代美術館（神奈川）
1997　ON Gallery（大阪）
1996「ワークショップ＝エキシビジョン 第 50 回山口県美術展覧会」山口県立美術館（山口）
SCAI THE BATHHOUSE（東京）
1994　AKI-EX ギャラリー（東京）

主なグループ展
2022「”ペイン天狗” 長谷川繁と O JUN」カスヤの森現代美術館（神奈川）
2019「長谷川繁と丹羽良徳」Satoko Oe Contemporary（東京）
「豊田市美術館リニューアルオープン記念コレクション展 “世界を開くのは誰だ”」豊田市美術館（愛知）
「愛知県美術館リニューアル・オープン記念　全館コレクション企画　愛知アートクロニクル 1919-2019」愛知県美術館（愛知）
「新しい具象」とは何だったのか？ 90 年代のニュー・フィギュラティヴ・ペインティングをめぐって」パープルームギャラリー（神奈川）
「その先へ -beyond the reasons」Komagome SOKO（東京）
2013「ユーモアと飛躍　そこにふれる」岡崎市美術博物館（愛知）
2011「ジャンボスズキ× 長谷川繁」See Saw Gallery（愛知）
「Deep Dig Dug – Prisma!」Maximilians Forum（ミュンヘン、ドイツ）
2010「虎、虎、虎」Galerie Clemens Thimmme（カールスルーエ、ドイツ）
「絵画の庭　ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館（大阪）
2009「放課後のはらっぱ　櫃田伸也とその教え子たち」愛知県美術館（愛知）
「第 1 回所沢ビエンナーレ美術展「引込線」」西部鉄道旧所沢車両工場（埼玉）
2008「LVRFI 2」T&S Gallery（東京）
「drawings – 考える手」名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）
「絵画＝単立と連立 2」カスヤの森現代美術館（神奈川）
2007「アートムーブ 2007 岩国」シンフォニア岩国（山口）
2006「LVRFI」Studio ONO（神奈川）
2005「第 11 回 インド・トリエンナーレ」（ニューデリー、インド）
「人工夢」名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）
2003「ZONE －不穏な時代の透視者たち」府中市美術館（東京）
「絵画 = 単立と連立」カスヤの森現代美術館（神奈川）
1998「VOCA ’98」上野の森美術館（東京）
「MORPHE ’98 海流－ Beyond the Horizon」工場跡地、相賀小学校跡他（三重）ほか
1997「時分の花」Gallery ART SOKO（東京）
1996「TAMA VIVANT ’96」多摩美術大学（東京）

パブリックコレクション
愛知県立芸術大学／山口県立美術館／府中市美術館／国立国際美術館／豊田市美術館／東京都現代美術館

関連イベント

※下記のほかにも、トークイベントなどを開催予定。詳細は決まり次第、ウェブサイトなどでお知らせします。

アーティスト・トーク

日　時｜10 月 7 日（土）14：00～15：30
出　演｜長谷川繁（出品作家）
会　場｜3 階アトリエ
定　員｜50 名程度（要事前申込・先着順）
料　金｜無料

担当学芸員によるギャラリー・トーク

日　時｜10 月 9 日（月・祝）14：00 ～ 14：40
会　場｜展示室 1
事前申込不要、参加無料

お申込み、その他詳細はチラシ・ウェブサイトにて

会場・お問合せ

横浜市民ギャラリーあざみ野
（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）
展覧会担当：佐藤、日比谷　広報担当：小泉
〒 225-0012　横浜市青葉区あざみ野南 1-17-3
アートフォーラムあざみ野 内
TEL 045-910-5656　FAX 045-910-5674
https://artazamino.jp/　info@artazamino.jp

交通のご案内

東急田園都市線「あざみ野駅」東口　徒歩 5 分
横浜市営地下鉄「あざみ野駅」1・2 番出口　徒歩 5 分
駐車場 27 台（有料・予約制）　予約専用 TEL　045-914-5910